

令和6年度 住まい環境整備モデル事業
【課題設定型・事業者提案型】

提案内容の概要

**事業名称：まざる、住まう、はたらく、
団地共生イノベーション**

代表提案者：社会福祉法人 京都福祉サービス協会

共同提案者：京都市 都市計画局 住宅室 住宅管理課



団地共生
INNOVATION



1. これまでの取組

京都福祉サービス協会



西野山団地自治連合会



京都市 住宅管理課

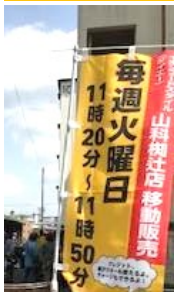
地域共生社会推進センターを設置
公益的な取組を推進

支え合い創出会議

- ・山科区社会福祉協議会
 - ・勧修地域包括支援センター
 - ・京都橘大学
 - ・株式会社ダイエー
- などマルチセクターでの活動

醍醐中山団地
でも支え合い
活動の展開

共生のまちづくりプロジェクト



タウンミーティングの開催
移動販売、集会所カフェ
学生による個別訪問
芸大の学生の居住

空き住戸を改装した
コミュニティカフェ
コミュニティスペースの開設

2. 現状・問題意識

築50年、団地の老朽化

かつては人気の団地暮らし
住戸整備も費用面の課題大

高齢化率68.8%

高齢になってから単身で
暮らしはじめた方も多い

空き住戸30%

若い世帯の入居者がいない
自治会活動への影響もある

つながりの希薄化

住民同士の見守り活動も
限界がある

移動の困難さ

外出をあきらめ、ひきこ
もってしまう高齢者の存在

- ・ 他の団地でも同様の課題
- ・ 京都市の都市計画、住宅政策
地域福祉にも共通する課題

3. 提案内容

若手福祉職員の住居としてリノベーション
市内8大学の連携活動

目的外使用で京都の福祉に従事する職員向け住戸に活用
団地のまちづくり活動と連携



大学の建築学科の若者による設計
若者が住みたいと思う住空間へ工夫
1住戸ー1大学での設計による特色

市内8大学
オール京都
で取り組む

3. 提案内容

つながりとやりがい
が生まれるコミュニティ
ファームづくり

自動灌水、
肥料システム
容易に栽培を
可能に



高齢でも、障がいがあっても
農作業ができる高床式栽培



活動を通じて団地内の人がつながる
団地外の人ともつながりあう拠点へ



人と人が
つながる
「はたらく」

3. 提案内容

高齢になっても気軽に
移動し社会とつながる
シェアセニアカー

株式会社スズキとの連携による
セニアカーのシェアリング
システム



体験会などの企画
身近な交通手段として
地域にも働きかける



ソーラー発電・蓄電
環境と人にやさしい
システムを導入



災害時にも
使える
暮らしの支え

4. 期待される効果

若者の参画が増加

福祉職の魅力向上

福祉職へ就業する若者の増加

団地再生に関わる学生の増加

まちづくり活動への参画

団地内のつながりが生まれる

孤立の予防

社会とのつながりが生まれる

生きがい生まれる

安心して暮らす

京都市の政策として発展

自治体と社会福祉法人の連携
モデルとして他地域への普及



5. 検証方法

若手福祉職員の住居としてリノベーション
市内8大学の連携活動

大学連携による計画、報告、
居住後の調査活動の実施

住民への聞き取り調査

つながりとやりがい
が生まれるコミュニティ
ファームづくり

参加者への定期的な聞き取り

参加者の満足度や生きがい創
出の効果を測定

高齢になっても気軽に
移動し社会とつながる
シェアセニアカー

団地住民、周辺地域の住民へ
の調査を実施

本事業による暮らしの変化を
聞き取り、他地域へ発信